

令和6年7月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和6年7月29日（月）午前10時00分開会
午後16時13分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第28号から第32号
日程第7 協議及び報告事項 協議第4号
報告第22号から第23号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中野文雄	4番	三木尚美
5番	ルーベッシュ裕子		

○説明のため出席した者（13名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部担当部長	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	学校再編課長	上野樹
教育総務課担当課長	久保修一	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	出藏裕昭
学校給食課長	小東敏郎	幼児教育振興課長	藤田崇宏

三田市立学校図書選定委員会 委員長 伊藤博之
副委員長 鯉ノ内克枝
特別支援担当校長 山本直也

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 石野寛人
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 三 木 尚 美

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和6年7月第308回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、議案第29号「職員の分限処分について」は、特定の個人情報を含んでいるため、議案第30号「令和6年度一般会計9月補正教育予算案に関する原案の決定について」及び議案第31号「三田市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する原案の決定について」は未確定な情報等を含んでいるため、これらは非公開として審議したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、議案第29号、議案第30号及び議案第31号の非公開議案の資料については後ほどお配りいたします。
また、議案第32号「令和7年度使用三田市立学校教科用図書採択について」は審議時間の関係上、非公開審議も含めすべての審議が終了した後に審議したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、議案第32号は、全ての審議事項等が終了した後に審議することといたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

(鹿嶽 昌功)

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和6年6月27日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、4番 三木尚美 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和6年7月29日月曜日午前10時00分開会
といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

7月19日に1学期の終業式を終えて、子どもたちは夏休み
に入りました。学校に子どもたちがいない状況の中、先生方
も少し気持ちが休まる時ではないでしょうか。平日の勤務で
は、事務関係やさまざまな研修受講もあり大変お忙しいと思
います。8月28日の2学期始業式までの約1か月、心身の
リフレッシュにも努めていただきたいと思います。
それでは、前回の定例会以降の私の活動について報告いたし
ます。

1) 新教育委員辞令交付(7/1)

7月1日、先の定例会でも報告しましたとおり、7月1日か
ら前任の中村委員に代わり保護者代表の教育委員として就任
されました、ルーベッシュ裕子委員への市長からの辞令交付
が市長公室でありました。
今後、約3年半の任期となりますが、三田の教育の推進にお
力添えをいただきたいと思います。
どうかよろしく願いいたします。

2) 三田市表彰・さんだチャレンジャーズアワード贈呈式
(7/1)

7月1日の市制記念日の午後、さつき賞とさんだチャレンジャーズアワードの贈呈式に参加しました。

自治功労・福祉功労・産業功労とさつき賞に8名の皆さん、昨年度スポーツ・文化の部門での活躍が顕著でありました8名1団体の皆さんにさんだチャレンジャーズアワードが贈呈されました。これまでの取組に敬意を表しますとともに、これからもご活躍いただきたいと思います。

3) 三田市教育委員会点検評価委員会(7/2)

7月2日に、昨年度の教育委員会の取組に対して第三者の皆さんに点検評価いただく委員会を開催しました。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、前回、委員の皆さんに見ていただいた教育委員会の内部評価に対してご意見をいただくものです。8月6日に2回目を開催して点検評価委員の皆さんの意見を集約していきたいと思っております。最終的には、市議会に報告したうえで、市民の皆さんに公表します。

4) 兵庫県吹奏楽コンクール第47回西阪神地区大会
(7/21)

7月21日の日曜日の午前中、吹奏楽の西阪神地区大会が郷の音ホールで開催され鑑賞に行きました。中学校のS部門は参加30人以下という比較的少人数の演奏ですが、昨今の少子化の影響もあり、10人程度の学校が多かったです。午前だけの鑑賞でしたが、三田の藍中学校と富士中学校の演奏を聞かせていただくことができました。午後から上野台中学校と長坂中学校が出演しており、後日コンクール結果を見ますと、富士中学校が地区代表に選ばれていました。おめでとうございます。今後、吹奏楽も部活動の地域移行の検討をしていくこととなりますが、中学校生活の思い出となるような充実した活動が行える仕組みを考えていかなければならないと思っております。

5) 地域社会共生フェスティバル(7/21)

7月21日の午後、郷の音ホールの隣の、総合福祉保健センターホールで行われた地域社会共生フェスティバルに参加しました。これは、特別な支援が必要な子どもたちが学校教育終了後も安心して社会生活が送れるよう、福祉・就労関係の市内外の事業者の皆さんからお話を聞き、情報を得る機会と

して開催している合同事業所説明会です。市内外から12の事業所の皆さんにお集まりいただき、順次班分けごとに丁寧な説明をいただきました。保護者の皆さんにとっても、また進路指導担当の教員にとっても貴重な情報収集の場であったと思います。

6) 第1回部活動地域移行推進委員会(7/25)

7月25日に中学校の部活動の地域クラブ活動への移行の取組に対して、関係者の皆さんからご意見をいただく推進委員会を開催しました。三田市は、剣道部について国の実証事業を受けながら休日部活動を地域移行させましたが、本年度から8中学校を4つのブロックで合同部活動として試行的に活動し、部活動の数を整理しながら地域の受け皿に引き継ぐ方向で地域移行を進めています。令和8年度中には学校部活動の整理をしていきたいと思っています。個別の具体策は実証事業を展開する中で出てきた課題を検証しながら、より良い方法、道筋を決めて行きたいと思っています。この問題は、今の中学生というより、これから中学校で部活動をしようと思っている小学生に大きくかわる取組ですので、小学校にも丁寧に説明していきたいと思っています。

7) 第68回兵庫県中学校総合体育大会(阪神・丹有地区開催)総合開会式・さんだサイエンスフェスティバル(7/27)

7月27日日曜の朝、尼崎市ベイコム総合体育館で開催されました、中学校総合体育大会の開会式に参加しました。3年生にとっては中学生の運動部活動の締めくくりということもあり、皆さん真剣な面持ちでした。中学校部活動は、学校部活動から地域クラブ活動へと変わっていきます。中学校体育連盟の運営を行なっている顧問の先生等が関わらなくなりますので、中学校体育連盟の組織自体も見直しが必要となってきます。競技に参加する中学生には、持てる力を最大限発揮いただいて、悔いの残らない大会としてほしいと思いました。開会式終了後は三田に戻り、こうみん未来塾全市版としての令和6年度さんだサイエンスフェスティバルが、午前11時から開催され開会式に参加しました。今年も25のブースを出展いただき、多くの子ども達に科学を中心とした興味・関心が生まれたと思います。

今年は、教育委員会が実施している夏休みの自由研究の優秀作品から、大学生のサポーターと一緒に参加してくれた「子どもブース」も3つ開催いただき大変賑わっていました。こ

れからも、理科を中心に子どもたちの学びが広がっていくことを期待しています。
私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは議事に入ります。
(1)地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条(会議)及び第16条(教育委員会の議事運営)関係による三田市教育委員会会議における教育委員の議席の指定について
議案第28号「三田市教育委員会会議における議席の指定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

議案第28号「三田市教育委員会会議における議席の指定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。
次の議案第29号、議案第30号、議案第31号につきましては冒頭でお伝えしたとおり非公開となりますので、後ほど審議いたします。
議案第32号につきましては、非公開議事終了後に協議いたします。

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして協議及び報告事項に移ります。
協議第4号「三田市居住環境等保全審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

協議第4号「三田市居住環境等保全審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明
(事務局よりルーベッシュ委員を提案)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局案のとおり「三田市居住環境等保全審査会委員」についてはルーベッシュ委員にお願いしたいと思います。
ルーベッシュ委員いかがでしょうか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

わかりました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
それではよろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第22号「学校医等の解嘱と委嘱に係る専決処分の報告について」事務局より説明をお願いします。

○幼児教育振興課長
(藤田 崇宏)

報告第22号「学校医等の解嘱と委嘱に係る専決処分の報告について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第23号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第23号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、8月もよろしく
お願いします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、8月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

8月教育委員会定例会の開催日時は令和6年8月27日(火)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくをお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、ここからは非公開案件となりますので、事務局関係者以外はご退席をお願いします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

《事務局関係者入室》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは審議を再開します。

(4) 教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】

議案第32号「令和7年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局より説明をお願いします。

○教育研修所長
(出藏 裕昭)

議案第32号「令和7年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局より説明

○三田市立学校教科用図書選定委員会委員長
(伊藤 博之)

「令和7年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」三田市立学校教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明

○教育長

三田市立学校教科用図書採択に関する答申

(鹿嶽 昌功)

「令和7年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について説明をお願いします。

○三田市教科用図書選定委員会
特別支援担当校長
(山本 直也)

「令和7年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について具体的に内容説明
学校教育法附則第9条の規定による一般図書の答申とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

教科書を見せていただいて、子どもたちにとって学びの要素が詰まった良い教科書を選んでいただいていると思いました。さまざまな特性や実情がある子どもたちの使う教科書として、追加の12冊の図書についても使用できる教科や、障害種別などのバランスはどうか。

○三田市教科用図書選定委員会
特別支援担当校長
(山本 直也)

それぞれの子どもたちが適した教科書を使えるようにするためすべての教科、学年、障害種別にも対応できるよう選定を行っています。しかし、音楽の冊数が少ないなどの課題があるため、来年度からその点も踏まえ選定を行っていきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

これまでどのような教科や障害種別の教科書が使用されてきたのですか。今回追加の12冊にも多く使用されてきた教科や障害種別の教科書はありますか。過年度も言葉の力の育成を重視といった議論はあったと思いますが、選定の意図等についても教えてください。

○三田市教科用図書選定委員会

現在、多く使用されている教科書は、国語、算数、数学の教科に対応する9条図書です。障害種別では、知的が最も多く次い

特別支援担当校長
(山本 直也)

で肢体が多くなっています。今年度までに多く使用された図書には「文章を書くのが好きになる空想作文ドリル」「学力ぐーんとあっぷシリーズわくわくさんすう忍者入門編」等があります。言葉に関する知識や書く力の習得につながる図書、算数の基礎を学べる図書が多く使用されています。その他、道徳モラルを学ぶ図書、英語の基礎基本や都道府県、歴史などを学べるような図書も比較的多く使用されています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

それぞれの障害種別や発達段階に応じたさまざまな素晴らしい教科書を丁寧に選定いただいたと思います。子どもたちの興味関心が続く配列への工夫がなされており、将来的な社会性も踏まえた要素が組み込まれていました。中学校教育は出口の教育と言われています。義務教育終了に向けた最後の3年間に適した、個々の有する課題に向けて基礎学力や生きる力をつけていただく教科書を選んでいただいたと思います。ありがとうございました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

他に何かご質問等ございますか。

なければ学校教育法附則第9条の規定による一般図書については、新たに追加された12冊を加えた345冊の答申を採択させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、答申どおり採択させていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

三田市立学校教科用図書採択に関する答申

【中学校教科用図書】について説明をお願いします。

教科が多いため、一教科ずつの答申、採択とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【国語】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

三田市教科用図書選定委員会副委員長の鯉ノ内です。私からは、中学校で使用される教科用図書の答申について詳しく説明いたします。それでは、教科ごとに説明させていただきます。「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【国語】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。採択候補と考える2社の推薦がありましたが、すべての出版社について、教科書も見えていただき、調査報告書を添付しておりますので、推薦された2社以外から採択することも可能です。推薦を受けた東京書籍、三省堂の2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、この後は、2社を中心に協議願います。何かご意見やご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

2次元コードで読み取れるデジタルコンテンツについて、2つの教科書それぞれにはどんな特徴がありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

東京書籍、三省堂どちらもデジタルコンテンツは質、量ともに充実しています。東京書籍が視聴時間の短い動画や子どもたちが自分で活用しやすい文法ゲームなど多様なコンテンツを掲載しています。そのため、授業の中でより取り扱いがしやすいのは、東京書籍となっております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
何かご質問等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

小中一貫した教育の視点で見たときに有効な特徴はありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

東京書籍は、1年生の初めの単元16ページが小学校6年生と同じ教科書体の大きな活字となっており、より円滑に中学校の国語の学習に入りやすくなっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ありませんか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、中学校国語については、答申にありました第一推薦どおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【書写】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【書写】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
採択候補と考える教科書は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版の4社です。そのうち、教育出版と光村図書出版の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご質問等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

光村図書の教科書には別冊ブックがついていますが、その取り扱いについてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

中学校では、現在も光村図書の別冊ブックを使用しています。忘れ物や紛失などの恐れもあるため、生徒の実態に応じて、学校へ置いておく、長期休み期間は持ち帰るなどの配慮を行って対応しています。別冊書写ブックでは、毛筆での学習を硬筆に生かして文字の整え方を学ぶことができます。紛失などのデメリットよりも、学習効果として得られるメリットが大きくなっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

文字を書く機会がどんどん少なくなっている中で、あらためて文字についての興味関心を大事にしないといけないと思います。推薦いただいた2社とも、子どもたちに文字についての興味を持たせるような工夫がなされていると感じました。これらの教科書を使用して指導していくにあたり、三田市は若手教員がどんどん増えていますが、若手教員にとって指導のしやすさといった視点ではどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

2社とも、デジタルコンテンツが充実しており、大型テレビやひとりひとりのタブレットなどで書き方を示すことができます。今までは、板書などで一度見て習得しなければならなかったのが、デジタルコンテンツの充実により、自分で何度でも見直し参考にすることもできます。特に、光村図書は463点のデジタルコンテンツが収録されており、ほとんどのページに2次元コードが掲載されている点でより扱いやすくなっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。
ないようでしたら、中学校書写については、答申にありました第一推薦のとおり、「光村図書出版」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

長時間経過しておりますので、午前中の協議はこれまでとし、ここで休憩をとります。
※事務局より午後13時再開を提案

《50分間 休憩》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、協議を再開します。
「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・地理】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・地理】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社です。その中で、帝国書院、日本文教出版の2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

探究的な学びの視点から見ると、どんな特徴がありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

どちらも探究的な学びの充実が図られ、単元の問いや自ら問いを立てられる工夫がなされていますが、帝国書院は、アクティブ地理で子どもひとりひとりが探究しやすいよう丁寧に示され

(鯉ノ内 克枝)	ているところが秀でています。
○教育長 (鹿嶽 昌功)	ありがとうございます。 他に何かご質問等ございますか。
○教育委員 (ルーベッシュ裕子)	三田市の子どもたちにとって使いやすい点ではどうですか。
○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 (鯉ノ内 克枝)	どちらも子どもたちが資料を読み取りやすくなるような写真や色、文字などを工夫しているため使いやすいものです。先ほど述べました地域を学ぶ章で兵庫を例に扱っている点、帝国書院の167ページ、日本の地域を学ぶ章の初めに地図と写真で各地域の特色が分かりやすく示されている点で、帝国書院がより使いやすくなっています。
○教育長 (鹿嶽 昌功)	ありがとうございます。 他に何かご質問等ございますか。
○教育長 (鹿嶽 昌功)	それでは、中学校社会・地理については、答申にありました第一推薦のとおり、「帝国書院」の教科書を採択します。
○教育長 (鹿嶽 昌功)	続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・歴史】」の説明をお願いします。
○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 (鯉ノ内 克枝)	「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・歴史】」の内容説明
○教育長 (鹿嶽 昌功)	ありがとうございます。 採択候補となる教科書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、令和書籍の8社です。その中で、帝国書院、東京書籍の2社の推薦がありました

が、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

小学校で学んできたことや他の分野とのつながりの点ではどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(鯉ノ内 克枝)

どちらも関連する内容には、文字やマークなどで示されているため、子どもたちが小学校や他分野とのつながりを意識しやすくなっています。帝国書院が、巻頭ガイダンスで小学校、地理・公民との関連について示している点でより秀でています。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育委員

(三木 尚美)

兵庫県に関する内容などについてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(鯉ノ内 克枝)

どちらも阪神淡路大震災などの資料で兵庫県を扱っていますが、帝国書院が巻末の見開き2ページにおいて兵庫(神戸)を大きく扱っています。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
それでは、中学校社会・歴史については、答申にありました第一推薦どおり、「帝国書院」の教科書を採択します。

○教育長

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社

- (鹿嶽 昌功) 会・公民】」の説明をお願いします。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝) 「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・公民】」の内容説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功) ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社です。採択候補と考える帝国書院と東京書籍2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。
- 教育委員 (異議なし)
- 教育長
(鹿嶽 昌功) それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 子どもたちが公民を学ぶ際の見通しにつながる工夫についてはどうですか。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝) 帝国書院と東京書籍の2社が巻頭のガイダンスページにて写真付きで小学校や他分野との関連について、図示されているため、見通しを立てる際の支援となります。
- 教育委員
(中野 文雄) 教科書には、子どもたちにとって授業で使用すると同時に、日常生活における資料としての役割も大切だと思います。推薦いただいた2社の中に、子どもたちが社会とのつながりを実感できるような内容はありますか。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 どの会社も選挙権のページでは18歳の記載はありますが、東京書籍では、3年後に18歳を迎えるための準備ということで、18歳へのステップ60ページ、スキルアップ103

- (鯉ノ内 克枝) ページが作られており、主権者についてより多く学ぶことができます。
- 教育長 (鹿嶽 昌功) ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。
- 教育長 (鹿嶽 昌功) それでは、中学校社会・公民については、答申にありました第一推薦どおり、「東京書籍」の教科書を採択します。
- 教育長 (鹿嶽 昌功) 続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・地図】」の説明をお願いします。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 (鯉ノ内 克枝) 「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【社会・地図】」の内容説明
- 教育長 (鹿嶽 昌功) ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、帝国書院の2社です。
それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見、ご質問等ございますか。
- 教育委員 (大野 裕己) 兵庫県ということもあり、防災や自然災害について学ぶことでも地図の果たす役割は大事になってくると思いますが、防災に関する内容についてはどうですか。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 (鯉ノ内 克枝) どちらとも、防災に関する資料について扱っていますが、東京書籍が2ページなのに対して帝国書院では4ページにわたってより詳しく説明されています。
- 教育長 (鹿嶽 昌功) ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

子どもたちが世界の各地域を、よりイメージできるような工夫はありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

鳥瞰図では、土地の高低差だけでなく、文化遺産や特産品等、地域の特色もイメージすることができます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、中学校社会・地図については、答申にありました第一推薦のとおり、「帝国書院」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【数学】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【数学】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、数研出版、日本文教出版の7社です。採択候補と考える東京書籍と新興出版社啓林館の2社の推薦がありましたが、推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

三田市の子どもたちの学習状況の課題等も踏まえて、子どもたちが理解しやすいといった視点ではどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

2次方程式の解き方については、東京書籍と啓林館の2社が「平方根」、「解の公式」、「因数分解」という順序で学ぶ配列となっています。「平方根」の知識を得てから解の公式を理解し、因数分解へと流れることで子どもたちにとって理解しやすくなっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

数学が苦手な子どもへの対応についての工夫についてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

どちらとも、身近な課題から学習へつなげるような工夫がなされています。先ほどの説明にもありましたが、啓林館が授業時間数やページを多く削減しています。そこで生まれた時間で動画コンテンツや補充問題など、自分で分野を選択し練習することができるため苦手克服につながります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、中学校数学については、答申にありました第一推薦のとおり、「新興出版社啓林館」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

長時間経過しておりますので、少し休憩をとります。

《10分間 休憩》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは協議を再開します。

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【理科】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【理科】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館の5社です。そのうち、教育出版と新興出版社啓林館の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。

何かご意見等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

三田市の子どもたちにとって使いやすい教科書はどちらの教科書ですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

兵庫県の施設を最も多く扱っているのが啓林館で、身近な話題から学習につながるような工夫が多くなされています。また、説明にもありました、記録タイマーの6打点を扱っている点も、三田市の子どもたちにとっての使いやすい教科書となっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

他にご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

教科の特性もあり、各社とも子どもたちにとって興味関心を促すような様々な工夫がなされていると感じましたが、探究的な学びの視点から見るとどんな特徴がありますか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

巻末の探Qシートに自分で課題や仮説、計画を設定し、結果、考察まで自分の言葉で書き込んでいくことができます。探究の仕方を学べる機会にもつながります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

新興出版社啓林館は、部活ラボやお料理ラボなど身近な話題が盛り込んである点が教科書に親しみやすく、日常生活と直結している部分が参考にもなるので大変良いと思いました。また、文字の並びや紙面の構成についても大変見やすく、視覚から入る情報に優しく作られていると感じました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
他にご意見等ございますか。
なければ、中学校理科については、答申にありました第一推薦のとおり、「新興出版社啓林館」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【音楽】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【音楽】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、教育出版、教育芸術社の2社です。
2社について、協議願います。

○教育委員
(三木 尚美)

子どもたちが学びに向かう力や意欲を持つという点において、
子どもの興味関心を引く工夫についてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

教育芸術社では、器楽68ページで「バンドの世界をのぞいて
みよう」とバンドスコアが記載されており、子どもたちの興味
関心を引き出すことにつながると考えられます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

教科書を通じて、子どもたちの知識や理解という部分だけでな
く、音楽を通して人間としての基礎となる感性の部分を学ぶこ
とはとても大事だと思います。他の教科とは違う情操教育にお
いて音楽は重要だと考えますが、先生方が指導していく上で教
師側の視点で見た時に、若手教員にとっての指導のしやすさは
どうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

教育芸術社の巻頭ページには、歌唱、創作、鑑賞の関連につ
いて記載され、3つの観点の評価を交えて整理されていま
す。若手教員や子どもたちにとっても扱いやすい工夫となっ
ています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければ、中学校音楽については、答申にありました第一推薦
のとおり、「教育芸術社」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【美
術】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【美術】」の内容
説明

(鯉ノ内 克枝)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

採択候補となる教科書は、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3社です。そのうち、開隆堂出版と日本文教出版の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。

何かご意見等ございますか。

○教育委員

(ルーベッシュ裕子)

先生方にとって指導のしやすさについての工夫はどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(鯉ノ内 克枝)

日本文教出版の1年生6ページにおいて、美術における3年間の学びについて解説されています。小学校の図画工作から中学3年生までの美術の学びについて知ることができ、先生や子どもたちへの支援につながります。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

他にご質問等ございますか。

○教育委員

(中野 文雄)

開隆堂出版の表紙は五感へ働きかける工夫がされていて驚きました。子どもたちが手に取った瞬間のリアクションが目に浮かびます。教科書は学びのツールとして、手に取ってみよう、見てもみようとさせる学びの入り口であることがとても大事だとあらためて思いました。美術作品は、時代背景や地域などの影響を受けるものだと思いますが、そのような視点はどうか。

○三田市立学校教

日本美術と世界の美術の年表は全社に記載されています。特に

科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

日本文教出版2、3年上58ページでは、地域からの影響や時代背景などの説明を入れてより分かりやすく説明されています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

美術という教科の特性に対して、子どもの興味関心を引き出す工夫が各社に見られました。芸術系も子どもたちの得意、苦手が出やすい教科だと思いますが、3年間の学びの見通しを持たせていくことが大切だと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。
なければ、中学校美術については、答申にありました第一推薦のとおり、「日本文教出版」の教科書を採用します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【保健体育】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【保健体育】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、Gakkenの4社です。そのうち、東京書籍とGakkenの2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

やはり教科の特性もある中で、課題解決学習や協働的な学びという点で各社の工夫が見られます。知識の習得から活用・探究にいたるまで紙面の内容も工夫されていると感じました。単元ごとの内容等における教材の配列についての特徴はどうか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

東京書籍のみ、2年生の3章「傷害の防止」と4章「健康な生活と疾病の予防」が、3年生5章「健康と環境」、6章「健康な生活と疾病の予防」が入れ替わって配列されています。その配列の方が、1学期単元で熱中症や心肺蘇生法について学ぶことができるため、生徒の実態や三田市中学校の年間計画に適しています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

子どもたちが自分の生活に結び付いて考える点についてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

巻末スキルブックが付属しているのは東京書籍のみとなっています。心肺蘇生法や熱中症の応急手当等20のスキルが記載され、子どもたちが日々の生活の中で活用が期待できます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。
なければ、中学校保健体育については、答申にありました第一推薦のとおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

長時間経過しておりますので、ここで少し休憩をとります。

《 10分間 休憩 》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは協議を再開します。
「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【技術】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【技術】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3社です。そのうち、東京書籍と開隆堂出版の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

技術分野の教科書は他教科とは違う学びの特性があります。子どもたちが実習を通して学んでいくことがとても大事になると思います。実習のときの使用のしやすさについてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

先ほどの説明で述べました開隆堂出版は、けがきや切断の製作が材料別に説明されていて、子どもたちが実習の際に活用しやすくなっています。また、総合実習例が豊富にあり、部品表や設計、作業のポイントなどまで詳細に記載されているのも開隆堂出版であり、実習時の支援となります。

○教育委員
(中野 文雄)

ありがとうございます。見せていただくと、確かに作業工程が分かりやすく表現されています。また、ページ右上にも糸のこぎり等の記載がされており、自然と目が向くよう視覚的効果の高い工夫も開隆堂出版には見られました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

技術という教科は、中学校で出会う新たな教科という印象を受けますが、小学校でも関連するような授業は行って来たと思います。小学校で学んできたことや他教科などとのつながりはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

どちらも、小学校や他教科と関連する箇所には、マークや文字などの表記がなされています。開隆堂出版の26ページから27ページなど、各章のページには、小学校の学びや他教科との関連を示している点で、より子どもたちが意識しやすくなっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。
なければ、中学校技術については、答申にありました第一推薦のとおり、「開隆堂出版」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【家庭】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【家庭】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の

3社です。そのうち、東京書籍と開隆堂出版の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員

(ルーベッシュ裕子)

子どもたちの興味関心を引きつける工夫はどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(鯉ノ内 克枝)

全社とも身近な生活とつながる内容や工夫がなされていますが、特に開隆堂出版はほとんどのページで疑問から学習につながるような工夫がなされています。18ページをご覧ください。卵のようなキャラクターからの問いかけによって、自分の生活について考えることができます。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。

○教育委員

(大野 裕己)

家庭の教科も、やはり防災や自然災害時の対応等を学習することが兵庫県や三田市では重要になると思います。防災に関する教材や資料についてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(鯉ノ内 克枝)

防災に関する内容がより豊富に記載されているのが開隆堂出版です。246ページから255ページまで10ページにわたって説明がされ、より防災に関して子どもたちが学ぶことができます。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。
なければ、中学校家庭については、答申にありました第一推薦

○教育長
(鹿嶽 昌功)

のとおり、「開隆堂出版」の教科書を採択します。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【外国語】」の説明をお願いします。

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【外国語】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書出版、新興出版社啓林館の6社です。そのうち、東京書籍と三省堂の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

日本人のお子さんの英語力は非常に高いと感じていますが、英語の会話になると、そういった場が少ないかと思います。英語の会話などの表現活動についての教材等はどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

どの会社も各章の最後に表現活動につながる内容を扱っています。その中でも、東京書籍のみ巻末付録1年157ページSmall Talkでも表現活動につながる内容を扱っており、子どもたちの表現力の向上につながる工夫がなされています。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

実際に英語で会話することで、違う言語で伝えたいことが伝わる楽しさを、子どもたちにも是非実感していただきたいと思い

子)

ます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

教科書にはCAN—DOリストが記載されていますが、子どもたちにとって使いやすい視点はどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

CAN—DOリストは全社に記載されています。その中でも、小学校から中学校3年生までの目標を整理しているのは東京書籍のみとなっています。小学校からの円滑な接続や、中学校英語科の5領域の目標も意識しやすくなる工夫となっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。
それでは、中学校外国語については、答申にありました第一推薦のとおり、「東京書籍」の教科書を採択します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【特別の教科・道徳】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長
(鯉ノ内 克枝)

「令和7年度使用三田市立中学校教科用図書【特別の教科・道徳】」の内容説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
採択候補となる教科書は、東京書籍、教育出版、三省堂、光村図書出版、日本文教出版、Gakken、あかつき教育図書、日本教科用の7社です。そのうち、日本文教出版とあかつき教育図書の2社の推薦がありました。推薦を受けた2社に絞って協議としてもよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それでは、2社を中心に協議願います。
何かご意見等ございますか。

○教育委員

(中野 文雄)

道徳について小学校からの意向や意見が出ていたら教えてください。また、選定に係る調査の中で、教科書に掲載されている教材、題材の特徴や種類を比較するとどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

(鯉ノ内 克枝)

今回、4教科に小学校の先生にも入っていただいています。道徳もそのひとつです。小学校から中学校への流れの中で大事にしていること等も共有しながら選定を進めてまいりました。また、教材に関しましては、全社ともいじめや情報モラルに関する教材など、多種多様な教材を記載しています。その中でも、あかつき教育図書は長年使用されている定番教材はもちろん、防災や情報モラルに関する教材を最も多く扱っており、コロナウイルスやAIに関する新しい教材も含め、より子どもたちが多様なテーマについて自らの考えを深めることにつながります。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

道徳も教科化され、子どもたちの心の学びに大きくつながる教科だと思います。昨年度は小学校道徳の教科書を選定させていただきましたが、中学校になると思春期もあり、子どもたちの心の持ちようもさまざまな中で先生方も評価をしていかなければならないと思います。先生方にとって指導しやすい視点についてはどうですか。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長

あかつき教育図書は、学年最初の教材において、子どもが「今の自分」を見つめることのできる読みもの教材を記載しています。学年初めの道徳授業開きにおいて活用しやすい教材がある

(鯉ノ内 克枝)

ことで、先生たちの指導のしやすさにつながっています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご意見等ございますか。
なければ、中学校道徳については、答申にありました第一推薦のとおり、「あかつき教育図書」の教科書を採用します。
以上をもちまして、来年度使用します中学校教科用図書全ての科目の採択を終了します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

最後に、本日採択しました全教科書について確認します。
国語「東京書籍」、書写「光村図書出版」、地理「帝国書院」、歴史「帝国書院」、公民「東京書籍」、地図「帝国書院」、数学「新興出版社啓林館」、理科「新興出版社啓林館」、音楽「教育芸術社」、美術「日本文教出版」、保健体育「東京書籍」、技術「開隆堂出版」、家庭「開隆堂出版」、外国語「東京書籍」、道徳「あかつき教育図書」以上です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

以上で教育委員会定例会を閉会いたします。長時間の協議ありがとうございました。
